



## まちなかエコ市場

3月18日(土) 10:00~15:00

第23回 テーマ

### 羽ばたこう、希望に向かって!

● 特別企画 熊本地震復興支援

☆トリックアート展  
(阿蘇ファームランド出店者)

☆初出演  
宇部工業高等専門学校  
ステージで羽ばたきます!

エコ教室もあります

身近な環境問題について、  
わかりやすくお話をします。  
参加無料、エコハ券2枚進呈

大人気の子育てグッズリユース  
名物軽トラ市(産地直送野菜他)  
温かいうどん、お弁当の販売等



トリックアート展の一部

場所:銀天エコプラザ 中央街区公園 & 野外ステージ

平成29年

3月11日(土)

13:00~17:00

宇部工業高等専門学校  
(宇部市常盤台2丁目 14-1)  
合同講義室

## 環境教育に関する合同セミナー開催!

参加無料  
申込不要

- ◇環境省協働取組加速化事業成果報告会
- ◇うべ環境コミュニティー環境サロン報告会

例年開催されているうべ環境コミュニティーの活動報告を兼ねたセミナーを、今年度は環境省協働取組加速化事業との合同セミナーとして開催します。さらに高校生の混成チームと環境チームとがディベートを行う企画もあり、盛り沢山な内容となっています。中学生、高校生を含む多くの方のご参加をお待ちしています。

第1部:13:00~14:00

環境省協働取組加速化事業「こども達の生きる力を育むための地域教育向上プロジェクト~新たな宇部方式の構築~」成果報告

同プロジェクト統括責任者 神戸大学名誉教授 薄井洋基氏  
平成28年度、宇部環境コミュニティーが環境省から受託した上記プロジェクトの成果について、報告し、宇部市における今後の継続的な環境教育の充実のための体制づくりについて意見交換を行います。

第2部:14:15~15:15

平成28年度うべ環境コミュニティー 環境サロンの成果について  
うべ環境コミュニティー 理事長 浮田正夫氏

NPO 法人うべ環境コミュニティーが宇部志立市民大学環境学部 OB 会の協力を得て開催した平成28年度11回の環境サロンの成果を報告し、次年度に向けての展望を紹介します。

第3部:15:30~17:00

高校生参加によるディベート大会

論 題 :「宇部市は、家庭ごみの処理を有料化するべきである。是か非か」

参加校:慶進高等学校、宇部工業高等学校

高校生混成チームを編成し、環境チーム\*とディベートを行います。

\*「宇部志立市民大学環境学部 OB 会 & うべ環境コミュニティー連合チーム」

高校生  
VS おとな

お問い合わせはこちらまでお願いします!

宇部市まちなか環境学習館

TEL 0836-39-8110 (受付 9:00~17:00)

e-mail [ubekankyocom@gmail.com](mailto:ubekankyocom@gmail.com) \*火曜日休館

## まちなか銀天

おそうじ隊募集!

3月26日(日)15:00~

まちなか環境学習館周辺や塩田川、中川などを掃除しています。メンバーは、その日集まってくださった方々。社会貢献と掃除後は茶話会のひと時を♪

まちなか環境学習館前に集合です。  
(道具は用意しています)

おそうじ隊参加者には  
環境地域通貨エコハ2枚進呈!



宇部市環境学習ポータルサイト

「うべくる」

うべくる

検索

<http://www.ubekuru.com> [kuru.com](http://www.kuru.com)

# 環境省平成28年度協働取組加速化事業が3月15日で終了します。



本年度、うべ環境コミュニティーが行政や民間の参画団体などと協働で取り組んできたプロジェクトは、3月15日で終了予定です。

宇部市は、かつて煤じん汚染克服のため産・官・学・民の情報共有と話し合いを重視した「宇部方式」と呼ばれる独自の対策を展開してきました。本事業では、こども達の生きる力を育むための教育力向上、特に環境教育力強化にこの方式を活用し、地域の環境保全について、自ら学び、考え、行動する人づくり、すなわち産官学民の連携・協働取組により「地域の教育力」を向上させるシステムの構築を目指します。また、新たな指導者の発掘育成、子ども達全体に行き届く環境学習機会の充実に重点を置いた環境学習拠点と連携した体制づくりを進めることを、本事業の目的としました。

本年度は、アクトビレッジおの、リサイクルプラザ、校区ふれあいセンターなどの環境学習拠点における子ども達の環境学習を、それぞれの拠点に対して編成された本事業のワーキンググループが支援するとともに、新規教材の検討、環境教育プログラムの検討を行いました。また、新たに企業との連携による子ども達の工場見学を試行して、次年度の環境教育プログラムの一つとして提案しました。

環境省プロジェクトは単年度予算のため、次年度継続できるかどうか不明ですが今後も、うべ環境コミュニティーは宇部市の環境教育・学習ビジョンの達成のために頑張っておりまます。市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(環境省プロジェクト 担当者 薄井洋基)

うべ環境コミュニティー会員



コラム

## 時代は2Rに

### 「環境首都創造フォーラム in 宇部」に参加して



◇3R（スリーアール）。リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）、この頭文字のRを取ったものだが、取り組むべき順番が大切であるとされる。まず、ゴミになるものを作らない・買わないと言ったように、そもそもゴミになるものを減らす（リデュース）ことから始めて、次に使えるものは繰り返し使い（リユース）、そして使えなくなったものを可能な限り、資源（原材料）として再び使う（リサイクル）となる。

このように、3Rは、ゴミを減らすために必要な三つの要素であることは、よく知られているところである。ところで、子供たちに「ゴミ問題を解決するには」と問うと、「リサイクル」との答えが非常に多いと言う。果たして、リサイクルでゴミ問題は解決するのか。京都市では、この問題に真剣に取り組んだ。その結果、京都市では、3Rでなく、「リデュース」と「リユース」の二つの取組を2R（ニアール）と称し、重要なゴミ減量策として位置づけ、積極的に推進して、大きな成果を上げてきているという。何故、2Rなのか。リサイクルは、その処理過程で一定のエネルギーを消費するなど、環境負荷やコストの面から必ずしも良いことばかりとは言えないとのこと。これは、1月18,19日の両日、宇部市の引き受けて開催された『環境首都創造フォーラム in 宇部』の第2部第2分科会「ゴミ減量、3Rの推進」で、基調講演をされた京エコロジーセンター館長で、京都大学名誉教授の高月紘氏のお話だ。京都市では、この「2R」と「分別の徹底」の二つを柱とした「新たなゴミ減量の仕組み」を再構築し（条例の大改正）、これをもとに「ゴミ半減」に取り組んでいる。この結果、ピーク時82万トン（H12年）あったゴミが、H25年には47万トン（▲42%）、目標のH30年39万トン（対ピーク時▲50%）に

向かって推進しているという。

すっかり定着していたゴミ処理の考え（3R）を「ごみ処理は元栓を閉めること」の原点に立って、考えを見直した京都のスタンスに非常に感銘した。

◇考え方を変える（逆転の転換）については、同分科会での水俣市の報告にも非常に感銘を受けた。水俣市は「水俣病のまち（環境の破壊を受けたまち）」という巨大な負の遺産を負っていた。然しこの負の遺産から学んだ多くの貴重な教訓がある。水俣市であったからこそ、体得出来た極めて貴重な財産がある。「水俣病の教訓＝水俣市の個性」、「マイナスの地域社会のイメージをプラスの資産へ」という、逆転の発想に立って、「環境に配慮したまちづくり」を目指して、市を挙げて取り組んできた。そして、遂にH20年に「環境モデル都市」の認定を受けるに至っている。その活動の基本になっているのは「ゼロ・ウェイストのまちづくり」であり、その詳しい説明がなされたが、何と云っても、その行動の原点にある「逆転の発想」に痛く感銘したことであった。

◇「逆転の発想」といえば、この会議の2日目の冒頭の主催者挨拶の中で、久保田市長が話された「ときわ動物園づくり」もそうであった。久保田市長は、マイナス要因（都市公園の中の動物園、霊長類だけに限定）を生かした、新しいコンセプトの動物園（湖水使用の池による柵なしの動物園、世界各地の霊長類による生物多様性の学習の場）を「売り」にした予算獲得、造園は正に発想の転換だったと披露された。各地からの関係者にとり、興味深い話であったに違いない。

◇第2部第2分科会「ゴミ減量、3Rの推進」では、前述の京都市、水俣市のほかに生駒市、そして宇部市の事例が報告された。宇部市については、環境学部OB会の松尾事務局長が「子育て支援リユース事業・捨てればゴミ！再利用で笑顔」と題する事例報告をされた。松尾さんは、宇部市の「子育て支援リユース事業」の中の「子供服・絵本リユース」について、具体的な数値を挙げた説得力のある報告をされた。因みにこの事業の開始以来5年間のごみ減量実績は、17.7トンに上るとのことだった。

(山切睦彦)



## 宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し（近隣の有料駐車場等をご利用ください）

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekankyocom@gmail.com

開館時間 9時～21時

休館日 毎週火曜日、年末年始（12月29日～1月3日）